

体育館での避難訓練



仮置き場に集められた災害廃棄物
(出典：環境省災害廃棄物対策フォトチャンネル)



地 域

行

政

公民館

石原よしのり議員(市民の力)
現在、公民館の利用者は高齢者を中心とした一部の市民に限られているように感じるが、持続可能な地域

**地域社会における今後の役割は
地域課題解決の拠点としていきたい**

答 公民館には地域における出会いの場、教養を身につける学習の場、各種団体の活動の場等の機能がある。今後は、主催講座の内容の工夫等により幅広く学習機会を提供すると共に、各公民館の特性や立地等を生かしながら、地域課題の解決に向けた学習・活動の拠点となるような仕組みを構築していきたいと考えている。

個人情報保護と第三者

西牟田敦議員(新しい流れ)
市が情報発信を検討している「LINE」には、アカウントの乗っ取り被害が絶えない等の問題もある。

**市域外での流出を規制する措置は
第三者に提供時は都度覚書を締結**

答 市が保有する個人情報を市域外を含む第三者に提供する際は、個人情報の取り扱いに関する覚書を都度交わしている。民間事業者が保有する個人情報については個人情報保護法で規制されているため、改めて市域外に個人情報を移転する場合の規制を条例で定める必要はないと考えている。

A I 技術と行政サービス

大場 諭議員(公明党)
少子高齢化が進む中、行政は質の高い公共サービスを効率的かつ効果的に提供する必要がある。そこで、

**業務プロセス整理が重要 市の認識は
整理を行った上で適切に導入する**

の整理を行うことであると考えている。市の認識を問う。
答 AI等情報技術の進展により、行政事務の処理の正確性や生産性を高めることが期待できる。そこで、業務プロセスの整理等を行った上で適切に導入し、職員は、企画などの業務に専念することにより、市民サービスの質を向上していく。

L G B T への理解促進

桜井雅人議員(日本共産党)
性別に関わらず誰もが自分らしく生きていけるまちを目指すため、LGBTを

**当事者への支援施策 どう進める
相談しやすい環境整備に努める**

は、男女の枠に捉われないことなく、LGBT当事者への偏見や差別を課題として認識し、個々の違いを尊重する取り組みが求められている。本市はこれまでLGBTへの理解促進に向けた啓発や相談対応を行ってきたが、今後もLGBT当事者が相談しやすい環境整備に努めていきたい。

防 災

体育館の機能改善

西村 敦議員(公明党)
災害が発生した際に市民の避難所となる場所は小中学校の体育館であるが、特に夏場においては高齢者に

**災害時は避難所 エアコン等の整備を
できるだけ早く対応していきたい**

式化する考えについて問う。
答 災害時には、市民が小中学校の体育館で一定期間生活することが想定されるため、暑い時期でも被災者が快適に生活できるよう配慮することは非常に重要である。地震等の災害はいつ発生するか分からないので、できるだけ早い時期からしっかりと対応していきたい。

大規模災害時の廃棄物処理

宮本 均議員(公明党)
大規模災害時においても安定した廃棄物処理を行うため、災害廃棄物の処理体制を整備し、いちかわじゅ

**処理体制の整備に向けた考えは
具体的に計画に位置づけていく**

んかんプランの基本方針にも反映させるべきである。市はどう考えているか。
答 現在、市は地震を想定した既存の震災廃棄物処理計画から、水害を含めた災害全般を想定した国の指針等最新の知見を踏まえ、平成30年度中に災害廃棄物処理計画への改定を行う予定である。また、32年度に改定を予定しているいちかわじゅんかんプランの基本方針においても、災害時の廃棄物処理体制の確保について、位置づけていきたいと考えている。



インターネット議会中継

■ライブ中継は「市川市議会ホームページ」から

市川市議会では本会議の様子をインターネットでライブ中継しています。

■録画配信は「YouTube」から

YouTube「市川市議会公式チャンネル」では、過去おおむね1年間の本会議の様子をご覧いただけます。

市川市議会ホームページでは、市議会の日程や審議結果、会議録などの情報を掲載しています。

市川市議会中継

